

賛助会員の皆さまへ

いつもご支援ありがとうございます。石巻復興きずな新聞舎の岩元暁子です。

夏らしくない夏が終わったと思ったら、あっという間に石巻ではストーブが必要な寒さになってきました…。11月までは我慢しようと思っていたのですが、先日とうとう耐えかねてストーブを出してしまいました。築50年の我が事務所、冬はかなりの寒さになりそうです…。

●夏の学生ボランティア受け入れ終了！

この夏は計24人（日別のべ181人）の学生ボランティアの受け入れを行ないました。一人平均7.5日間と活動期間が長めだったので、活動内容も新聞配布だけでなく、地域のイベントやサロン活動のお手伝い、被災地の現状を学ぶための施設訪問など、盛りだくさんにしてみました。東北・石巻の現状や課題を、県外の若い人たちに深く知ってもらえたのは、大きな意義があったのではと思います。

また今回は、新聞やFacebookページに掲載する記事を執筆する「記者ボランティア」も2人、参加してくれました。活動レポートを書いてもらいましたので、ぜひ読んでみてください（別紙）。

11月から県外の個人ボランティアの受け入れも開始します。興味のある方はぜひ、裏面の概要を読んで、お申込みください。また周りに「被災地の現状を見てみたい」「東北に行ってみよう」という方がいらっしゃいましたら、ぜひ教えてあげてください。

よく「ボランティアは足りているの？」という質問をされます。私たちはいる人数でうまく回れるように活動を組んでいるので、「ボランティアが足りなくて、新聞が配り切れない」という事態にはなりません。しかし、ボランティアの人数が多ければ、住民さん一人あたりに掛けられる時間は多くなります。たっぷりお話を聴いてあげることできますし、お茶っこの誘われたときに断らなくてはならないことも減ります。そういう意味では、より多くの方にお手伝いいただければ助かるのは間違いありません。

●復興公営住宅でサロン活動始めました！

石巻復興きずな新聞は毎月6000部発行。内訳は、約1500部は仮設住宅へ配布、約3500部は復興公営住宅へ配布、残りは街なかの拠点などに置く用になっています（2017年10月現在）。そう、つまり、復興公営住宅は仮設住宅の2倍以上配布されています（ちなみにこの数字は毎月変わります。復興公営住宅はどんどん新しい団地ができるので、毎月最新情報を得るのが大変…。しかも復興公営住宅は田んぼだった場所に建ったりするので、Googleマップなどで住所を入れても出てきません。ときには新しい団地を探し回って、車で30分ウロウロすることも…笑）。

昨年度は「仮設住宅へは戸別訪問、復興公営住宅へはポスティング」を基本としていましたが、

今年度に入って、地元ボランティアの人数が少し増えてきたこと、仮設住宅が激減していることから、復興公営住宅へも戸別訪問を始めてみました。中には「復興住宅に移って、私はもう復興したんだから、いつまでもボランティアが来て『被災者扱い』されるのは嫌！」という方もいるかな～と思っていたのですが、意外にも、行くところ行くところ長話…。「仮設のときみたいにボランティアさんが来てくれてうれしい」「復興住宅には話し相手がいなくて…」「隣に誰が住んでいるのかもわからないのよ」「仮設のときみたいに集会所でイベントがあったらいいんだけど、ここでは何もなしから全然人と会わないの」 などなど、復興公営住宅でのコミュニティ形成に大きな課題があることがわかってきました。



▲石巻の市街地に建つ復興公営住宅。平屋の仮設住宅とは異なり、復興公営住宅は多層階のため、住民さん同士が知り合うきっかけがほとんどないのです

そこでまずは集会所の活用を促進できたら良いのではと考え、8月から、いくつかの団地でイベントやお茶会を開催しています。中には入居開始から半年以上経つのに、「初めて集会所を開けた」という団地も。最初は皆さん、様子を伺って集会所に入ってきていましたが、何回か回数を重ねていると、だんだんと顔見知りも増え、打ち解けた雰囲気にもなってきました。

今後も、団地の状況に応じて、こうしたサロン活動は行なっていこうと考えています。もし皆様の中に「〇〇教室できる」「コンサートやりたい」など、多くの方が楽しめるイベントを開催できる方がいらっしゃいましたら、ぜひぜひお知らせください。



▲イベントのチラシとお茶会の様子

●11月&12月のボランティア募集

下記日程にて、県外からの個人ボランティアの受け入れを実施する予定です。牡蠣の美味しい季節です。この機会に石巻にいらしてみませんか？

日程：①11/11土-12日（2日間） ②12/16土-17日（2日間）

定員：各回6名 ※定員になり次第、締め切ります。

条件：

- * 宮城県石巻市の拠点（石巻駅から徒歩5分）で現地集合・現地解散になります（仮設住宅への移動はごちからで車を用意します）。
- * 活動時間は初日8:30~17:30、二日目9:15~18:00です。
- * この活動を長く続けていくために、県外の方の初回参加時のみ活動協力金（一般3000円、賛助会員・学生1000円）をお願いしています。
- * 宿泊場所を希望される方は、拠点2階に宿泊できます。寝具完備。1泊500円以上の拠点維持募金にご協力をお願いします。
- * 過去にきずな新聞のボランティアに参加されたことがある方は、1回5000円の交通費補助を受け取ることができます。詳しくはホームページをご覧ください。
- * 各自でボランティア活動保険のご加入をお願い致します。

参加申し込み：<http://www.kizuna-shinbun.org/2017/09/30/blog-19/>

●12/9-10傾聴講座

昨年度大好評だった傾聴講座を、今年度も開催できることになりました。今年は12月9日（土）～10日（日）に石巻総合体育館で開催予定です。講師は「傾聴ボランティア」の養成を行なう「NPO法人仙台傾聴の会」様をお願いしています。支援活動やボランティアだけでなく、家庭や職場、日常生活にも活かせるスキルをたくさん学ぶことができますので、ぜひ参加ご検討ください。

日に日に寒さが増してきました。風邪など引かれませんように、気を付けてくださいね。

2017年10月10日
石巻復興きずな新聞舎・代表 岩元暁子

＜石巻復興きずな新聞舎＞
〒986-0813 石巻市駅前北通り1-5-3
Tel: 090-6686-8317 Mail: kasetsukizuna@gmail.com
FB: www.facebook.com/kasetsukizuna
HP: <http://www.kizuna-shinbun.org>